

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋グレストンホテル TEL 052-264-8000  
 例会日時 木曜日 12:30  
 クラブ会報広報委員長 横田 佳奈  
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2020-21年度RLテーマ  
 会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会の扉を開く

承認 会長 幹事 事務局	1995328 成田 勝彦 恵利 有司 名古屋市中区栄3-29-1 名古屋グレストンホテル 1007号
TEL	052-263-1324
FAX	052-263-0730
Email	seinan1@fancy.ocn.ne.jp

成田勝彦会長 年度目標 : “一致団結” 和気あいあいと仲よく楽しく過ごそう

第1150回 例会 No. 5 令和2年9月17日(木)

## ガバナー補佐訪問

■ロータリーソング	「我等の生業」	
■出席報告	会員46名中30名出席	
■出席率	68.18%	出席計算人数44名
■修正出席率	9月4日休会	
■ゲスト	ガバナー補佐	照井 葉 様
	地区副幹事	坂 英臣 様
	分区幹事	林 順治 様
	地区大会幹事	鈴木民也 様
	地区大会実行委員	杉浦透恭 様
	高山さんゲスト	加藤育子 様

## 会長挨拶

成田勝彦

皆さんこんにちは。  
 先ほどガバナー補佐懇談会があり、意見交換させていただきました。後にまた報告させていただきたいと思います。  
 今日菅内閣が誕生しまして、今後の景気対策並びにコロナ感染の収束に、どれだけスピーディーにやっ  
 ていけるかと言うところに関心を持ち、期待しています。  
 そして明日の金曜日には、栄地区都市公園久屋大通公園がリニューアルオープンいたしますので、その事についてお伝えします。  
 久屋大通公園は9月18日金曜日、久屋大通りパークとしてオープンします。  
 錦大通りから北側へ約1キロメートルにわたる公園で、広大な敷地に24棟の店舗が設置され、憩いの場として4つのゾーンに分けて登場し、魅力ある賑わいのあるパークを大いに期待されています。  
 まず4つのゾーンに分かれており、北側から「学びの森」。フィットネスや子ども向けの施設もある、最も大きい芝生広場だそうです。  
 エリアゾーンの2は「アーバンリゾートゾーン」と言って、四季折々を身近に感じるアートやライトアップを歩きながら楽しめるゾーンです。  
 3番目「コミュニティーゾーン」。テレビ塔がリニューアルして、4階5階がザ・タワーホテルに新装オープンします。そして最後にエリアゾーン4。これは「シンボルゾーン」と



いって、テレビ塔前から錦通までの全長80メートルの大きな水盤があり、その周りにテントが設置され、水盤を望みながら食事が楽しめるそうです。  
 実際にはまだ半分の実装と言う事ですが、ぜひ皆さんも家族や大切な人たちと一緒に行っていただけるとありがたいなと思います。  
 先週台風9号と10号と災害が続く週でしたが、今週は政策とイベントで明るい街づくりの週です。希望に満ちた年になりますよう期待しております。  
 そして、会員の皆様には自らの成長への努力を持ち続けてほしいと願います。  
 ありがとうございました。

## ニコBOX

照井葉ガバナー補佐、坂英臣地区副幹事、林順治分区幹事  
 ガバナー補佐訪問に参りました。宜しくお願ひします。  
 鈴木民也地区大会幹事、杉浦透恭地区大会実行委員  
 本日は例会の貴重な時間をいただき、地区大会のPRに参りました。宜しくお願ひします。  
 ●本日はガバナー補佐訪問です。照井ガバナー補佐、坂地区副幹事、林分区幹事、ようこそお越しくださいました。よろしくお願ひいたします。  
 成田会長、恵利幹事、松尾、亀井、安江、横田、岩田、川原、高山、小原、河原、古川、磯部、西川、水野、堀江亮介、大塚、加藤、今村、立石、高橋、森田、後藤、佐久間、長谷川、武山(敬称略)  
 藤田さん 照井葉ガバナー補佐、ようこそお越しくださいました。本日はよろしくご指導お願ひいたします。  
 ●秋のニコニコ健康感謝 Day 長谷川さん以下5名  
 本日合計 84,000円

## 地区大会PR

地区大会幹事 鈴木民也  
 地区大会実行委員 杉原透恭  
 成田会長を始めとします名古屋丸の内ロータリークラブの皆様こんにちは。  
 本年度の地区大会の日程がコロナ禍で変更になり、皆様へのご案内も大変遅れてしまい、申し訳ないと思っておりましたが、ようやく皆様にご案内できる準備が整いましたので、お時間をいただきまして地区大会のPRをさせていただきます。



ビデオをご覧頂きました通り、今大会はコロナ禍にありまして、今までにない、デジタルとリアルのハイブリットな地区大会をテーマに、開催したいと企画しております。今回の本会議の記念講演会はもちろんのこと、岡部ガバナーが中心の大懇親会を、コロナ対策を万全に備えたもとで企画しています。

大会の様もオンラインでライブ配信します。

来場できない方にも参加していただけるように、準備を進めて参ります。

世の中がコロナで全てを閉じてしまうと言う状況ではありますが、コロナ対策も十分にいたしまして、ニューノーマルな地区大会を開催したいと考えております。

2760地区のガバナーの皆様には開催趣旨をご理解の上、全員登録をお願いしたいと思っております。

開催日時は来年の3月14日 日曜日、開会は午後1時。会場は6000人を収容できる愛知県国際展示場で開催いたします。

照井ガバナー補佐にも大変ご協力いただいておりますので、メンバーの皆様にはロータリーの友情を持って、ぜひともご参加いただけますように、知立ロータリーメンバー同心よりお待ちしております。

それでは皆様、当日お目にかかれることを祈っております。ありがとうございました。

### ガバナー補佐講話

西名古屋分区ガバナー補佐 照井 葉



みなさま改めましてこんにちは。名古屋大須ロータリークラブ会員のガバナー補佐 照井葉でございます。皆さんおわりの通りコロナ禍の中で、なかなか例会が開けないというのが現状でございます。実は今週は4連続クラブ訪問がありまして、昨日は東南ロータリーでした。その東南ロータリーで初めて例会に出席することができました。それまでは会長、幹事のみ懇談をしてクラブアッセンブリをやるところ、または会長1人だけが出席されて面談でお話するだけ、などとなかなか皆さんの顔を拝見する機会がありませんでした。今日は13クラブのうちの8番目の訪問で、こうして例会に出席するのは、2つ目です。私の中でも大変貴重な経験でござ

います。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度のRI 会長テーマのロゴデザインは、ロータリーの色であるブルー、真ん中の黄色ですが実は金色、最後が克蘭ベリーレッドの3枚の扉の形です。克蘭ベリーレッドはローターアクトを象徴する色です。この3つの扉には、機会の扉を開けましょうという意味が込められているのだそうです。

いつもの年よりもシンプルかなと思うのですが、なかなか意味が深く、あのドアに取っ手が付いていないのは、自動扉というわけではなく、自分で機会の扉を開けてください。いろいろな機会を開けるように、という意味だそうです。

このホルガー クナークさんという方、ドイツ人ではじめてRIの会長になられた方です。ドイツ人初のRI会長と言うことで、意外と思われるかもしれませんが、RIの中でも中枢で仕事をしていらした方ではありません。

本流を進んでいらした方ではなく、周りに抜擢されたと言う部分もありますので、国際ロータリー自身も何か変えていきたいと思っているのかな？と感じる抜擢だと思えます。

ちなみに2022-23年度は、115年のロータリーの歴史の中で初めて女性の会長の就任で、大変話題を集めています。彼女はカナダのロータリアンです。カナダは女性会員の占める割合が35%と、世界の中でも1番女性のロータリアンが多い地域です。その中から会長に選ばれたのはジェニファーさんという方です。

皆様どうぞご協力よろしくお願いいたします。

我が2760地区の岡部つとむガバナーのご紹介に移ります。「つとむ」という字はパソコンで変換できずに困ったと言う方も多いと思います。務という字の旧漢字ですので、作らないとできません。

お父様が熱田神宮で名前をいただいたと言うことで、力と言う字がはみ出しているので、縁の下の力持ちを表しているそうです。とても気に入ってみえるそうです。

そしてソムリエの資格を持っていらっしゃるの、ワインの話をする止まらないということです。

ゴルフのハンディは14。ロブショットとかグリーン周りが得意とおっしゃっていました。

ドローンの資格も持っていて、ドローンは国内ではなかなか難しいので海外へ行った時に飛ばしたいなとおっしゃっていました。

岡部ガバナーが考えられたテーマはこちらです。

地区方針「行動するロータリアン世界で何か良いことをしよう TOGETHER」。

地区の行動方針、皆様をお願いする部分でございますが、クラブはロータリーの中心ということでクラブの活性化を図っていきましょう。

やっぱりこうやって例会で、皆様顔を合わせてお話をすることはとても大切なことです。

何しろクラブ戦略委員会と言うのを考えて、5年先のビジョンを考えないといけません。5年先には2025年問題というのが出てきます。

今のうちにその準備を始めて、戦略を立てましょうと言うことを話していらっしゃいました。

より大きなインパクトをもたらす、例えば今までポリオなどで持続的にやってきた成果を踏まえて、さらに大きな変化の生み出すビジョンの実現に向けて、行動を起こすと言う事です。

そして参加者の基盤を広げると言うことです。これは男女問わず、広い年齢層の参加。ロータリーの開放性をアピールすることをさらに高めると言うことです。

こちらのクラブは女性の方がたくさんいらっしゃいますが、これからは男性も女性もオープンな雰囲気大切にしなければならぬとおっしゃっていました。

それから参加者の積極的な関わりや個人的なつながりはもちろんのこと、職業的なつながりと言うのを大切に、その機会を提供していくのがこのクラブなのです。その中から、リーダーシップやスキルの研修などを深めていってほしいと言うことです。

「適応力を高める」。これは今一番大切なことかもしれませんが。いろいろなクラブの意思決定があります。いろんなことを決めていかなければいけないのですが、今まで通りでいいのか？今まで通りでできないことをどうやっていくか？と言うことを、これからは考えるべきだと思います。

ガバナンスを見直す、プロセス構造合理化を見直すなど、今の時代に合ったものに変えていくには、5年後のビジョンに向けて構築を始めると良いのではないのでしょうか。

「クラブ研修委員会リーダーシップを養成していく」。主に3年未満の新会員の方たちに向けて、皆さんが先輩としてどうフォローしていくか？と言う事です。

3年未満でやめていかれる方が多いと言う事は、ロータリーの中で面白さを見つけれなかったということです。コミュニケーションが取れなかったとか、孤立感があつたとかいろいろあると思いますが、このことをフォローすることと、3年未満の方たちに研修をしていくことで、ロータリーとはいかに素晴らしい組織で、どういう意味があつてこういうことをしているんだろうという研修を通して、皆さんに覚えてもらいたいのです。

2760地区は、3年未満の新会員さんに研修を行っています。1ヵ月前に入りましたと言う方から3年経ちましたと言う方まで幅広いのですが、そういう方たちが集まって研修を行っています。

ロータリーの「口」の字もわからない方から、少し雰囲気がわかってきた方まで色々なのです。この研修を通して横のつながりもできるのでとても有効です。多くの方が参加しているので新会員の方はぜひ参加していただきたいと思います。

「財団の補助金と奉仕プロジェクトに使いましょ」。財団に寄付してくださっているものは、3年後に戻ってきます。この返ってくるものは手を上げないと返してもらえません。できれば地区補助金グローバル補助金など手をあげて、有効に使っていただけると資金的に少し楽になる部分があると思います。ぜひ考えていただきたいです。グローバル補助金も今はハードルがかなり低くなってきました。海外の台湾とかのロータリーと手を結ぶと、倍以上のことができます。ぜひその辺を考えてみて

ください。

「ロータリーファミリーを連携しよう」。

これはクナーク会長が一番声を大にしておっしゃっていることです。

ロータリークラブで一緒に共同して何かやろう。

若い力を助けると言うより一緒にやっていく。

ローターアクトの力を信じているので、若い力を使ってもっと有意義なことをやっていきたいと言っていました。ロータリーファミリーとは、インターアクトもあります。青少年交換の高校生たちもいます。

学費をサポートしている米山記念奨学生もいます。

幅広いですから、ローターファミリーの皆さんと力合わせてやっていきましょう。

世界には1,090のローターアクトクラブがあり25万人のローターアクターが活動しています。30歳までという年齢上限が無くなり、2022年からはRIに人頭分担当金を支払うことになりました。ローターアクターもロータリアンになれるという道筋ができましたが、日本の場合は他国と比べると独立性が脆弱なため、これからどう育てていくかというところに問題があります。彼らのリーダーシップを育てるためにも共同事業を企画することをお勧めします。

「オンラインツール リソース」。

これは先程話していたんですが、まずはマイロータリーに登録していただくとか、地区のロータリーのアプリをスマホに落とさせていただいて、これからの時代オンラインをうまく使ってやっていきたいとのこと。

「会員増強」。これはいろいろな方法があります。

岡部ガバナーが一生懸命おっしゃっているのは、衛星クラブつまりサテライトクラブの創設です。

今まであまり耳にしたことはないかもしれませんが、8人から創設でき、例会の回数や例会費など全て自分たちで決めることができます。

丸の内ロータリークラブのサテライトクラブができたすると、丸の内サテライトクラブになります。

この人たちに同じように指導ができたり、同じプロジェクトを組んだりすることができます。サテライトクラブは、会員が減っていく部分で何かの力になるのではないのでしょうか。

世界的にロータリアンは120万人前後いるのが普通で、アメリカが減っても他の国が増えて122万人と言う人数をコンスタントにキープしてきました。

が、やはりコロナ禍は大きいです。

南半球も北半球も全部が止まったため117万人までに激減してしまつたんです。この辺りをクナークさんは「数ではない質だ」とおっしゃいます。しかしここまで減ってしまうと、会員増強を考えなければいけません。

2760地区も5000人までもう少しで届くところだったんですが、ショートしてしまいました。300人ぐらい足りないと言う状況です。本当は目標の5,000人にしたいんですけれどね。

会員増強にいろいろな手立てがあるので、ぜひ考えてほしいところです。

会則を変えることで、準会員や期間限定会員で一時的に



会員になるとか、家族会員とか、それぞれのクラブで考えることができます。いろいろ考えていただいて、少し挑戦してみてください。

「ロータリー賞」。

地区便覧にも載っていますが、25 ある項目の中の17 を選んで、挑戦していく事ができると思います。

ぜひ挑戦してみてください。

「国際大会」。台湾で行われます。

台湾はコロナをいち早く封じ込めることに成功した国です。他の国、アメリカとかヨーロッパがどうなるかで少し難しいかもしれませんが、来年の6月12日から6月16日まで開かれます。6月13日には岡部ガバナーのガバナーナイトが開かれます。

皆さん行ったことがある方も多いと思いますが、ぜひ参加してみてください。いろいろな国の方々が集まって、横のつながりで色々なお話しができるチャンスです。ぜひ挑戦する方は登録を受け付けています。クラブ単位で申し込まれているところもあります。

「地区大会」。

本来なら2日のスケジュールを今年度は1日で終わらせなければいけないので、本当に大変です。

知立ロータリーさんが一生懸命やっていますので、できれば全員登録してください。オンラインで登録できるのであれば、そういう形での登録をお勧めします。6500人収容できる場所なので、ソーシャルディスタンスは完璧に取れるところです。

安心して参加していただけたらと思います。

「ロータリー奉仕委員会」。

地区のロータリー奉仕委員会というのは、今までいろいろな委員会がバラバラになっていたのを、1つにまとめました。社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年、それからライラ、ローターアウト、インターアクトなど全部を統括して、横のつながりを強くしました。

このことでより動きやすくなるのではないかとこの作戦です。大きな動きではありますが、それぞれの独立性は各委員会ごとで保たれています。

「防災対策」。

東南海地震に対して、ロータリーがどういう風に動いたらいいかということで、これは次年度から作られます。

「桜回廊プロジェクト」。

期間限定で一度終わっているのですが、本年度特別にお願いしたいということです。

来年の5月に全国植物園大会名古屋大会というのが予定されております。秋篠宮殿下もご臨席され、桜の回廊をご覧になるそうです。

一年だけ復活して、ヘルプしてほしいということなので、期間限定でお付き合いすることになりました。

この桜の回廊にいらしたことはありますか？

この見事な桜の園で、3月から5月末までいろいろな品種の桜が咲きます。見ごたえがあり、写真も撮りやすいので、インスタ映えをします。ぜひいらしてください。こういう形でロータリーとしては環境保全、公共のイメージ向上にも役立つと思います。

この桜回廊プロジェクトに参加していただきたいと思

います。

アメリカの独立機関・チャリティーナビゲーターによる慈善団体への評価では、ロータリー財団は12年連続、最高評価の星4つです。米国慈善団体評価機関からはA+の認定を受けています。いずれも、92%の資金がプログラムと管理運営費に使われているところが評価されています。財団は、一人当たり 年次基金150ドル+ポリオプラス基金30ドル=180ドルの寄付を日本の目標として活動しています。他にも1,000ドル以上を恒久基金にご寄付いただくベネファクターを各クラブ1名以上、10,000ドル以上の寄付をしていただく大口寄付者・メジャードナーを地区で5名以上など、寄付の目標は数多くあります。またロータリーカードを作っていた場合は支払金額の3%がポリオプラス基金に寄付され、ポイントはロータリー財団に寄付することができます。財団への寄付！今年度もぜひご協力をお願いいたします。

日本のロータリークラブは100周年を迎えます。新型コロナ禍に於いても紆余曲折の歴史を経て培われた底力で新しい形を模索し、さらに進化したロータリークラブになる予感がします。2020-21 岡部ガバナー年度がそのターニングポイントになるよう、私もガバナー補佐として力を尽くします。

今年もコロナ禍の中でいろいろな動きがあります。

皆さんもいろいろな活動をしていきたいと思っと思っていますので、RI テーマの3つのドアを一枚一枚開けて、世界に良いことを皆さんに良いことをしていただくよう努力していただきたいです。短い時間ではありましたが、ご静聴有り難うございました。

## 第2回 アssenブリ議事録

令和元年9月17日(木) 13:40~

名古屋クレストンホテル 9階

出席者 照井ガバナー補佐、  
坂地区副幹事、林分区幹事  
成田、大塚、亀井、高山、西川、長谷川、  
今村、加藤、立石、小原、堀江亮介、横田、  
磯部、武山、森田、高橋、藤田

議題

1. 委員会事業とクラブ運営について
2. その他



例会のご案内

◎9月24日(木) 休会 ◎10月1日(木) 休会

◎10月8日(木) 第1151 回例会

「米山奨学生報告」 米山奨学生 タダボエブ アフロル さん